

第69回ブラジル日系コミュニティー卓球大会開会式  
山田大使挨拶（2019年1月26日（土））8:00～

●皆さん、おはようございます。

●「第69回ブラジル日系コミュニティー卓球大会」の開催にあたり、主催者である伯中西部日伯協会連合会、サポートに当たられている連邦卓球連盟、伯卓球連盟、連邦直轄区関係者、並びに競技参加者の皆様に敬意を表するとともに心よりお祝いを申し上げます。

●私は外務省入省以来長い間、伯をはじめとする中南米関係の仕事に携わってきましたが、中でも日系社会との関係強化は常に重要なアジェンダでした。2017年8月に駐ブラジル大使として着任してからも、伯各地の日本祭り等多くのイベントに足を運んで日系人の皆さんと交流を深めたいと思い、活動して参りました。長い歴史を有する本大会で、全国各地の日系人の皆さんとお会いできることを心から嬉しく思っております。

●皆様ご承知の通り、2018年は日本人伯移住110周年、2019年は日本人アマゾン移住90周年、また、2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催される予定です。我々はこのような絶好の機会を活かし「リオから東京へ」を合い言葉に、日系社会とも連携しながら日伯両国のスポーツ協力を力を入れているところです。

●本大会は、ブラジル全国津々浦々から、老若男女を問わず幅広い年齢層の方が参加されるとともに、過去には本大会の参加者からオリンピック出場者が出たこともあるなど非常にレベルが高い大会であると同っております。本大会からステップアップして、将来的に2020年東京五輪に出場したり、世界に羽ばたく日系スポーツ選手が輩出され、日本との交流が生まれることを願ってやみません。

●本大会に参加の選手の皆さんの健闘を祈りつつ、卓球という素晴らしいスポーツを通じて、日系コミュニティー間の交流が更に深まることを祈念します。